

2014年度の事業活動の総括

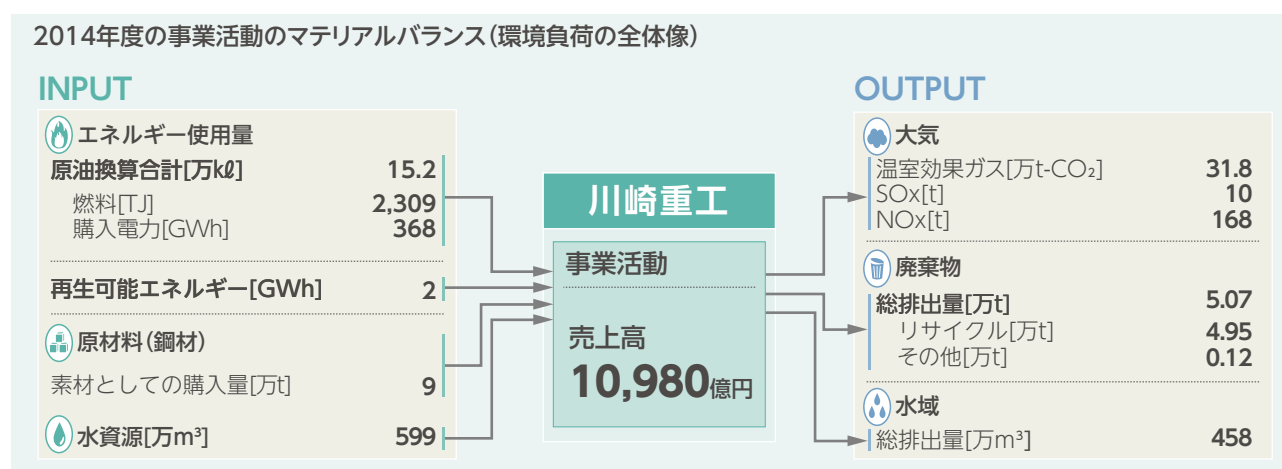
2014年度活動目標と活動実績評価

| 第8次環境経営活動基本計画(2013~2015) | |
|--------------------------|--|
| 低炭素社会の実現 | <p>重点施策 CO₂&エネルギー削減</p> <p>1.エネルギー見える化システムの活用</p> <p>取組内容 エネルギー見える化システムを活用した改善活動によりCO₂排出量、エネルギー使用量を削減する。</p> <p>目標 2015年度までに、年間のCO₂排出量およびエネルギー量を5%以上削減する。</p> <p>2.製品貢献によるCO₂排出量削減</p> <p>取組内容 エネルギー関連製品、輸送関連製品、産業機械・その他製品の別にCO₂削減量を算定する。</p> <p>目標 製品貢献によるCO₂排出削減量の累積値を当初各事業部門の計画値以上とする。</p> |
| | <p>重点施策 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進</p> <p>1.廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化</p> <p>取組内容 廃棄物総排出量の削減対策を確実に実施する。 サーマルリサイクルからマテリアルリサイクルやリユースへの高度処理移行を推進する。</p> <p>目標 廃棄物総排出量を原単位で削減し、ゼロエミッションを全事業場で堅持する。</p> <p>2.PCB処理の推進</p> <p>取組内容 適正処理計画を策定しフォローする。</p> <p>目標 高濃度PCB廃棄物は、JESCO^{*1}への処理を着実に実施する。 低濃度PCB廃棄物は、最適な方法で処理する。 *中間貯蔵・環境安全事業株式会社</p> |
| 自然共生社会の実現 | <p>重点施策 環境負荷物質の削減</p> <p>1.化学物質の削減</p> <p>取組内容 有害物質を含まない代替材料や含有濃度の低い材料への切り替えを行う。 化学物質の回収処理等の活動により、大気放出、事業場外への移動量を削減する。</p> <p>目標 主要VOCは、原単位で第7次計画の実績平均以下とする。 重金属は2020年度までの原則ゼロを目指して削減する。</p> <p>重点施策 資源保全推進</p> <p>1.森林保全活動</p> <p>取組内容 森林保全活動を継続実施する。</p> <p>目標 森林保全活動を年2回以上実施する。</p> <p>2.水の省資源化</p> <p>取組内容 節水活動などを推進する。</p> <p>目標 使用量・排水量を削減する。</p> |
| | <p>重点施策 川崎重工グループの環境管理体制の充実</p> <p>1.当社および国内関連企業の環境マネジメント力の強化</p> <p>取組内容 環境データをステークホルダに発信する。</p> <p>目標 合理的な削減目標を設定し、適切にフィードバックする。</p> <p>2.海外関連企業の環境マネジメント力の強化</p> <p>取組内容 環境データを把握し、環境パフォーマンス(環境への負荷やそれに係る対策の結果)を評価する。</p> <p>目標 法規制その他要求事項を把握し、環境リスク低減を支援する。</p> <p>重点施策 Kawasakiグリーン製品促進活動</p> <p>1.Kawasakiグリーン製品適合性評価制度構築</p> <p>取組内容 製品の自己宣言によって環境主張を行う制度を構築する。</p> <p>目標 ISO14021に準拠した制度構築を行う。</p> |
| 環境マネジメントシステムの確立 | |

| 2014年度目標 | 2014年度実績評価 | 記載ページ |
|--|---|--------|
| <p>CO₂&エネルギー削減</p> <p>1.エネルギー見える化システムの活用 2015年度までに、“CO₂排出量・エネルギー使用量”を5%以上削減するための設備化と体制を構築する。</p> <p>2.製品貢献によるCO₂排出量削減 累積値を当初各事業部門計画値以上とし、CO₂排出量の削減を社外に発信する。</p> | <p>CO₂&エネルギー削減</p> <p>1.エネルギー見える化システムの活用 昨年度に引き続き全事業場への設備導入を継続中。勉強会、講習会、改善事例データ共有化等により改善活動を推進し、年間のエネルギー使用量を2%削減した。</p> <p>2.製品貢献によるCO₂排出量削減 当初計画を下回ったものの、事業活動からの排出量を超える51万t-CO₂削減した。削減実績はホームページやKawasaki Reportなどで社外発信している。</p> | ▶ P.11 |
| <p>3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進</p> <p>1.廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化 廃棄物総排出量を原単位で削減し、ゼロエミッションを堅持する。リサイクル率を前年度実績以上とする。</p> <p>2.PCB処理の推進 低濃度PCB廃棄物は最善の処理方法を検討し採用する。</p> | <p>3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進</p> <p>1.廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化 廃棄物総排出量は原単位で前年度実績から6%削減し、最終埋立率は1%以下とゼロエミッションを堅持した。リサイクル率は98%と前年度と同等となった。</p> <p>2.PCB処理の推進 低濃度PCB含有トランス等を最善の処分方法で295台処分した。</p> | ▶ P.15 |
| <p>環境負荷物質の削減</p> <p>1.化学物資の削減 主要VOCは原単位で、第7次計画の実績平均以下とする。重金属は2020年度までの原則ゼロ化を目指して削減する。</p> | <p>環境負荷物質の削減</p> <p>1.化学物資の削減 主要VOCは原単位で23%削減した。ジクロロメタンは排出量で13%、重金属は取扱量で47%増加した。</p> | ▶ P.16 |
| <p>資源保全推進</p> <p>1.森林保全活動の継続 森林保全活動を年2回以上実施する。</p> <p>2.水の省資源化 使用量・排水量を削減する。</p> | <p>資源保全推進</p> <p>1.森林保全活動の継続 兵庫県、宮城県、高知県での活動を計5回行った。</p> <p>2.水の省資源化 前年度から原単位で使用量を8%削減、排水量は19%増加した。</p> | ▶ P.16 |
| <p>川崎重工グループの環境管理体制の充実</p> <p>1.国内関連企業の環境マネジメント力の強化 合理的な削減目標を設定し、適切にフィードバックする。</p> <p>2.海外関連企業の環境マネジメント力の強化 情報共有化を進め、海外拠点の課題を抽出・支援する。</p> | <p>川崎重工グループの環境管理体制の充実</p> <p>1.国内関連企業の環境マネジメント力の強化 削減目標の設定は2015年度の継続検討とした。</p> <p>2.海外関連企業の環境マネジメント力の強化 環境データ等を収集する様式を新規に作成し、収集した情報から、海外での環境管理情報の横展開や課題の抽出を開始した。</p> | ▶ P.18 |
| <p>Kawasaki グリーン製品促進活動</p> <p>1.適合性評価の実施 環境配慮に対する製品の適合性を総合的に審査し、登録する制度を構築する。</p> <p>2.社内外への情報発信 ISO14021に準じ、製品の環境側面を発信する。</p> | <p>Kawasaki グリーン製品促進活動</p> <p>1.適合性評価の実施 適合性評価を実施し、11製品をKawasakiグリーン製品に登録した。</p> <p>2.社内外への情報発信 Kawasaki Report2014、各種新聞・雑誌、ホームページ、社内誌等で情報を発信した。</p> | ▶ P.21 |

2014年度の事業活動のマテリアルバランス(環境負荷の全体像)

2014年度の事業活動における環境負荷についてまとめました。当社が様々な製品を製造する際に使用する原材料、エネルギー、水などの投入量と環境に負荷を与える物質の排出量を低減する活動に取り組んでいます。



2014年度の環境会計集計結果

集計に関しては環境省の「環境会計ガイドライン(2005年版)」を参考にしています

(百万円)

| 項目 | | 環境投資 | 環境費用 | 経済効果 | |
|--------------------------|---|---------------------|---------------|------------|-----|
| 事業エリア内 コスト | 地球温暖化防止 (省エネルギー、温室効果ガス排出量削減、 オゾン層破壊防止等) | 844 | 3,239 | 293 | |
| | 資源有効活用(原材料・水等) | 11 | 142 | 35 | |
| | 資源循環活動 | 資源循環活動 (再利用、再使用) | 33 | 579 | 581 |
| | | 廃棄物処理費用 (廃棄物処理) | 0 | 316 | 5 |
| | リスク対応(公害防止、遵法対応) | 265 | 700 | 0 | |
| | 小計 | 1,154 | 4,976 | 912 | |
| [前年度比] | | 78% | 99% | 119% | |
| 上・下流コスト | | 16 | 2,870 | 0 | |
| 管理活動コスト | | 13 | 431 | 0 | |
| 研究開発コスト(製品、製造時などの環境負荷抑制) | | 455 | 6,741 | 0 | |
| 社会活動コスト | | 11 | 207 | 0 | |
| 環境損傷対応コスト | | 0 | 66 | 0 | |
| 合計 | | 1,650 | 15,292 | 912 | |
| 前年度比 | | 99% | 87% | 119% | |